

転倒

分子:

フォローアップ時から過去 90 日以内に 1 度以上転倒していた

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

認知機能障害がある

ADL が悪化した

歩行補助具の仕様あり

不安定な歩行

移動の問題

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

IADL の改善

分子:

ベースラインの IADL スケールが 1 以上で、フォローアップ時に低下（改善）していた利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

悲しみ

ADL 悪化

うっ血性心不全あり

痛み

入院

ADL Long スケール

アルツハイマー病またはその他の認知症あり

Clinical Risk スケール

アセスメント間隔（月数）

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

IADL 悪化

分子:

ベースラインの IADL スケールが 14 以下で、フォローアップ時に増加（悪化）していた利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

買い物が困難

Clinical Risk スケール

悲しみ

食事の準備に困難あり

家事に困難あり

アセスメント間隔（月数）

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

事故

分子:

フォローアップ時に新たにけがや火傷が発生した

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

ADL 悪化

糖尿病

痛み

不安定な歩行

入院

Clinical Risk スケール

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

気分の改善

分子:

ベースライン時にうつ評価尺度(DRS)が 1 以上で、フォローアップ時に減少（改善）していた利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

ADL 悪化

入院

ADL Long スケール

Clinical Risk スケール

アセスメント間隔（月数）

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

気分の落ち込み

分子:

ベースライン時にうつ評価尺度(DRS)が 13 以下で、フォローアップ時に増加（悪化）していた利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

Clinical Risk スケール

入浴に困難あり

アセスメント間隔（月数）

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

痛みのコントロールが不十分

分子:

ベースライン時に痛みがあり、フォローアップ時にもある利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

認知機能障害がある

金銭管理が困難

服薬管理が困難

Clinical Risk スケール

意思決定が困難

悲しみ

不安定な歩行

入院

認知機能尺度(CPS)

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

痛みの改善

分子:

ベースラインとフォローアップの間に痛みが軽減した利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

認知機能障害がある

金銭管理が困難

服薬管理が困難

悲しみ

不安定な歩行

入院

Clinical Risk スケール

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

重度の痛み

分子:

フォローアップ時に重度の痛みがあった利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

息切れ

不安定な歩行

ADL Long スケール

Clinical Risk スケール

ADL Short スケール*4

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

介護者の継続的なストレス

分子:

ベースライン時とフォローアップ時に介護者のストレス、怒り、うつがある利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

認知機能障害がある

IADL Difficulty スケール*⁵

意思決定が困難

悲しみ

家事に困難あり

ADL 悪化

不安定な行動

入院

Clinical Risk スケール

認知機能尺度(CPS)

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

孤独

分子:

フォローアップ時に孤独を感じていた利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

ADL 悪化

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

認知機能障害がある

買い物が困難

入院

移動の問題

痛み

不安定な歩行

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

外出日数の減少

分子:

フォローアップ時に外出日数が減少していた利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

ADL 悪化

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

IADL Difficulty スケール

移動の問題

痛み

不安定な歩行

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

インフルエンザワクチン未接種

分子:

ベースライン時にもフォローアップ時にもインフルエンザワクチンを接種していなかった利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

移動が自立ではない

活動時間が 2 時間未満

家事に困難あり

糖尿病

痛み

入院

ADL Long スケール

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

入院

分子:

フォローアップ時に入院、救急外来、救急ケアを受けた利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

救急外来を受診

Clinical Risk スケール

入浴に困難あり

糖尿病

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

体重減少

分子:

フォローアップ時に体重減少が見られた利用者

分母:

ベースラインと 6 か月のフォローアップの両方のアセスメントデータが有効である利用者

リスク調整変数:

65 歳未満

アセスメント間隔が 6 ヶ月以内

入浴に困難あり

糖尿病

入院

アセスメント間隔 (月数)

除外:

指定された期間内にアセスメントが 2 回以上行われていない

*¹ **Early-Loss ADL** スケール：入浴、トイレの使用、移動という早期喪失（Early Loss）のADLの自立度を示す尺度。上記3つのADLの自立度の平均値から算出される。得点が高いほど自立度が低い。

*² **Clinical Risk** スケール：息切れ、体重減少、骨折、胸痛、嘔吐、急性症状の発生、尿失禁、不十分な水分摂取、意思決定能力の低下、ADLの低下、という臨床的リスクがどの程度あるかを示す尺度。得点が高いほどリスクがある。

*³ **ADL Long** スケール：ADL7項目（個人衛生、下半身の更衣、歩行、移動、トイレへの移乗、トイレの使用、ベッド上の可動性）を用いて算出する尺度。ADLの自立度を示す。得点が高いほど自立度が低い。

*⁴ **ADL Short** スケール：ADL4項目（個人衛生、トイレへの移乗、歩行、ベッド上の可動性）を用いて算出する尺度。ADLの自立度を示す。得点が高いほど自立度が低い。

*⁵ **IADL Difficulty** スケール：IADL5項目食事の用意、家事一般、薬の管理、階段、買い物の能力の自立度を用いて算出する尺度。得点が高いほどIADL能力の自立度が低い。

